

Housing Tribune

Today for Tomorrow

<http://www.sohjusha.co.jp>

検証 熊本地震

二度の大地震が 突き付けた課題

なぜ、新耐震以降の建物も倒れたのか？



HEMSに新たな動き

自動制御、生活支援、電力自由化対応など

HEAT20が外皮性能グレードの最終版を公表

地域や気候特性に応じた外皮性能の基準を設定

首都圏のアパート、空室率が急上昇

東京都全域では3戸に1戸が空室!?

塗料メーカー各社、内装塗料市場の開拓へ

機能性、施工性、意匠性などを売りに

定期総会で今後の 戦略ビジョンなどを解説

(一社)日本ホウ酸処理協会
(二社)日本ホウ酸処理協会
会(JBTA、荒川民雄代表
理事)が第4回定期総会を開
催した。

浅葉健介理事(日本ボレイ
ト社長)は、「正しいホウ酸

処理を広めるために」をキ
ワードに今後のビジョンを解
説した。

まずは、全国で実施してい
るセミナーにて、責任施工に
よるホウ酸処理を正しく世の
中に広げていくことが、市場
拡大のためにも重要だと述べ
た。



今後のJBTAビジョンを語る
浅葉健介理事

また、協会員がユーザーに
マニュアルなどを説明する際、
動画を上手く活用することが
重要だと語った。日本ボレイ
トで動画制作の内製化を進め
ており、今後もどんどん増や
していくとしている。

ほかには、好調な売れ行き
の防蟻気密シーリング材「ボ
レイトシール」の販売促進、
「アメリカカンザイ保証制度」
の開始を来年1月に予定して
いることなど、これからの目
標を語った。

さらに、このほど埼玉県草
加市に完成した、木造2階建
のホウ酸処理研修施設の紹介
も行った。ここでは天候に左
右されずに実験を行うことが
でき、スクーリング研修や実
地研修が可能だ。協会員の人
材育成の場に最適である。

定期総会の翌日には、研修
施設の見学会も行った。